

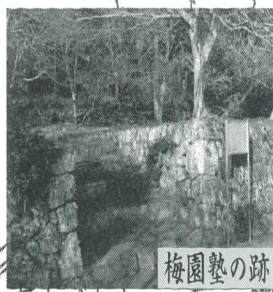
くにしてい しせき み うら ばい えん きゅう たく しきち はいちず
国指定史跡 三浦梅園旧宅 敷地 配置図

5 墓所



40ほどの石段と坂を登ればたどりつきます

日に三度、この高台まで登り父の墓をおまいりした場所で、曾祖父母からの一族の墓があります。父母の墓の横、屋根があるのが三浦梅園の墓です。



梅園塾の跡

寄宿寮など2棟あったようですが梅園没後、塾は続かず、石垣と梅の木で当時をしのぶだけです。

1 塾跡



三浦梅園旧宅

梅園の筆跡による柱だての図板が伝わり、50歳代の安永年間(~1781)に設計し、晩年を過ごした家です。茅葺き屋根の古民家ですが、右横と裏側に明治期に増築の瓦屋根部分があります。

2 旧宅

4 三浦梅園資料館

3 土蔵



土蔵
[旧宅右の手前]

旧宅と同時の建造とされ、現在、資料館で保管・展示中の和漢の書籍は、ここの二階の蔵書でした。



三浦梅園資料館
[正面入口]

〒873-0355 大分県国東市安岐町富清2507-1

0978-64-6311 (FAX0978-64-6310)

休館日：平日の月曜・祝日開館の翌平日・
 年末年始 (12月29日~1月4日)

開館時間：9:00~17:00

入館料：大人300円・小中学生200円

同(団体)大人200円×(10名以上)

小中学生100円×(10名以上)

駐車場